



コミュニティー

コーポラティブ

COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2016年12月

発行所*COCO湘南

〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*大江守之

理事長就任にあたって



NPO法人COCO湘南
理事長 大江守之

5月の総会で理事長に就任いたしました大江守之です。
1997年に慶應義塾大学の湘南藤沢キャンパスに総合政策学部教授として着任して以降、何人もの大学院生が高齢者グループリビングを研究テーマとして取り上げてきました。私はもともと住宅政策を研究対象の一つとしていましたが、高齢者共同居住については学生とともに学んできたというのが正直なところです。1999年にスタートしたCOCO湘南台は間もなく18周年を迎えます。この間、西條先生のお力で（財）JKAの補助事業が実施され、各地に運営者の仲間が増え、お互いに学ぶ合う環境ができました。一方で、介護保険制度が始まり、その後の改正を経て、高齢者の住まいを取り巻く社会状況も大きく変化してきました。グループリビングは制度に守られていませんが、そのぶん自由度の大きいこの暮らし方は、様々な工夫によって進化していくことができると考えています。「自立と共生」の理念を大切にしながら、居住者、会員、理事のみなさまと力を合わせて、COCO湘南台とCOCOたかくらの未来をつくっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

居住者募集中

COCO湘南台1人、COCOたかくら1人
ご連絡先 0466-46-4976



新役員紹介	
役名	氏名
理事長	大江 守之
副理事長	最上 真理子
副理事長	脇屋 英子
常務理事	中野 満
理事	江野 隆介
理事	小川 良子
理事	熊澤 淑子
理事	佐竹 三保子
理事	関水 秀樹
理事	橋本 美智子
監事	増本 敏子
監事	脇 礼子

なお、これまで長きに亘り法人役員として貢献された次の方々については相談役として引き続き法人内において定款外の役付とする。

相談役	西條 節子
相談役	竹内 碩子

第18回NPO法人COCO湘南総会が、5月31日にCOCO湘南台で行われました。

総会出席者は、正会員98人中81人（内委任状50人）でした。

今回の総会では、西條節子氏が理事長の退任を表明し、新理事長に慶應義塾大学総合政策学部教授 大江守之氏、副理事長に最上真理子氏、脇屋英子氏が決定しました。

2015年度 事業報告

1 会員数 （3月31日現在）

	正 会 員		賛 助 会 員	
	個人	団体	個人	団体
2014年度	113	5	89	5
2015年度	98	3	62	7

2 グループリビング入居状況

1. 生活者の状況 （3月31日現在）

	湘南台	ありま	たかくら	合 計
2014年度	9	6	10	25
2015年度	10	0	10	20
退去	3	6	4	13
入居	4	0	4	8

平均年齢	78.7歳	—	83.9歳	81.3歳
最高年齢	89歳	—	93歳	—

2. 「COCOありま」の閉鎖

2014年度より生活者が6名となり、空室状況を解消するため見学会を開催するなど入居者の募集に努力してきたが、入居者が増えることなく一年以上経過し、財政的にも厳しい状況となって理事会及び対策チーム（理事・事務局6名で構成）でその対応を図ってきた結果、3月26日開催の臨時総会において2016年3月31日付でオーナーとの賃貸借契約の解約と閉鎖が承認された。

また、「COCOありま」の生活者については予め他のCOCOに居室を確保し、閉鎖後もグループリビングの生活を保証することにより理解が得られ、最終的には4名の方がCOCO湘南台とCOCOたかくらに転居された。

3. グループリビング研究会の開催

目 的	生活者の「自立と共生」のもと、尊厳ある暮らしを実践するために各GLの情報交換や、ライフサポーターの研修を目的とする。
開 催	COCO湘南台で毎月第2火曜日14：00～16：00
参加者	COCO湘南が運営する3グループリビング（以下GLとする）のライフサポーター、法人役員、事務局のほかCOCO宮内のスタッフも参加。
内 容	各GLでの生活状況報告やイベント紹介、より良いライフサポート、支援困難ケースについての意見交換等。
効 果	ライフサポーターが各GLの情報を共有することによりGL全体の問題として捉え、解決を図ることができると同時にサポーターのスキルアップを通し生活者のQOL（生活の質）向上に繋げることができる。

4. 地域交流事業の実施

☆新春サロンコンサートの開催

日 時	1月23日（土）午後2時～午後4時
場 所	COCO湘南台 2F
内 容	村尾茅衣氏のチェンバロ演奏とビンゴ大会
参加者	40名

3 情報発信

会報の発行 年3回発行（7月、1月、3月）・毎号2,000部印刷
配布先：正会員、賛助会員、各市民センター、行政、関係団体等
上記のほかCOCO湘南見学者、イベント、講演会等で配布

4 COCO湘南見学会

1. 定例見学会

目 的	GLに興味がある方、将来の選択肢として知りたい方、設立を目指している方等にGLの見学を通じ理解を深めてもらう。
対 象	一般の方 毎回15名程度
日時・場所	原則毎月第1土曜日 COCO湘南台 14：00～16：00
担当者	西條理事長・亀井里江子・中野満・井野元美奈子（事務局）
内 容	資料配布によるCOCO湘南の概要説明、GLでの暮らしの紹介、及び建物内の見学と質疑応答
実 績	2014年度は7回開催し延べ59名の参加者があったが、今年度は定例見学会への参加希望者が減り、下記のとおり年3回のみの開催となった。 COCO湘南台4月（7名）・8月（15名） COCOたかくら12月（7名）

2. 臨時見学会

6月27日	横浜市泉区和泉中央地区民生委員児童委員協議会	26名
7月15日	全日本年金者組合神奈川県老名支部女性の会 COCOありま見学	15名
8月21日	一般財団法人 多磨の杜 生活支援部長ほか	1名
10月20日	ワーカーズコープ・ライフステージ・キュービック	21名

5 講師及びシンポジスト派遣

10月24日

（社福）福島福祉会主催 奈良ワークショップ
西條理事長



大江守之氏



中野満氏



脇れい子氏



会場からの質問



西條節子氏



最上真理子氏



脇屋英子氏



小川良子氏

6 研修受け入れ状況

4月14日	藤沢市立看護専門学校3年生	21名
9月16日	藤沢市立看護専門学校3年生	23名
11月17日	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科	2名
12月15日	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科	20名

7 取材協力

	取材先	対応
7月23日	韓国女性新聞「The Womens' News」編集長及び江南大学シルバー産業学部准教授 計2名	西條理事長、事務局
9月4日	国立大学法人 奈良女子大学住環境学科講師1名 及び大阪市立大学都市研究プラザ博士研究員1名	土井原理事、事務局
1月23日	韓国YTNテレビ取材 2名	西條理事長、事務局
2月29日	住宅情報サイト「SUUMO（スーモ）ジャーナル」2名 「シニア版シェアハウス グループリビングでの暮らし」	西條理事長、事務局
3月1日	神奈川県住宅管理課住宅企画グループ 2名 「住生活基本計画の見直しについて、中間的な住まいのあり方について」	西條理事長、事務局

今後の課題

- 1、COCO湘南が運営するグループリビングでの生活者は元気に日々を送っているが、加齢に伴う様々な問題も生じている。個々の生活支援については介護保険サービス等様々な公的支援も活用しているが、COCO湘南としてさらにきめ細かい支援が必要と考えられる。 また、NPOと行政とのパートナーシップを模索しながら支援策について具体的かつ建設的な討議を今後も重ねる必要がある。
- 2、5年前の東日本大震災や4月の熊本地震を教訓にグループリビングにおける緊急時避難対策や防災・減災対策を定期的に確認し、生活者の安心、安全の確保に努めることが引き続き求められる。
- 3、2008年に開設した地域交流拠点「COCOみちしるべ」の運営についてはワーカーズコープ・ホームヘルプおり～ぶに委託しているが、おり～ぶが藤沢市から受託し実施する「高齢者生きがい対応型ディサービス事業」（2016年10月以降は 「介護予防・日常生活総合支援事業」に移行予定）に生活者も参加し、様々な活動を通じ地域の高齢者との交流と介護予防が図れるよう協力と支援を今後も続けていく必要がある。
- 4、グループリビングの普及啓発については全国組織のグループリビング運営協議会への参加を通じ加盟するグループリビングとネットワークを構築し、高齢者が「自立と共生」のもと尊厳のある暮らしを実現できるように全国に発信していく必要がある。
- 5、COCO湘南の運営についてはCOCOありまの閉鎖を教訓に中長期的な展望のもと財政計画を作成し、健全かつ持続的な運営を目指す必要がある。
- 6、次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを知ってもらい、普及させることは重要な取り組みであり、学生等の研修については今後も積極的に受け入れていく必要がある。

2016年度 事業計画

NPO本部の機関運営

	回数	日時	場所	備考
1 総会	年1回	5月	COCO湘南台2F リビング	
2 理事会	年4回	5・8・11・2月	COCO湘南台1F アトリエ	法人活動に関わる討議等
3 役員会	随時		COCO湘南台2F リビング	理事長、副理事長、常務理事による課題協議
4 会員支援	随時			会員管理及び会報等の情報発信等
5 会報発行	年4回	7・10・1・3月		会員、地域、行政、関係機関等への情報発信
6 入居状況の把握	12回	毎月		入居者数 入居率 退去者数等
7 GL入退去時支援	随時			入居契約 退去解約 入居一時金
8 財務管理	随時			理事会に報告
9 ホームページ管理	随時			法人事業の紹介と会報発行、見学会開催等最新情報の公開

COCO湘南の2グループリビング運営事業（COCO湘南台、COCOたかくら）

	回数	日時	場所	備考
1 各GLの生活者支援	毎日		各グループリビング	ライフサポーターによる支援
2 入退去相談支援			各グループリビング	新規入居や退去に関わる支援
1) 体験宿泊支援	随時			グループリビング入居希望者等の支援
2) 入退去時の支援	随時			入居時オリエンテーション等
3 生活に必要なサービスの提供	毎日		各グループリビング	ワーカーズコープおり〜ぶキッチンとの生活支援業務委託契約による食事サービス（週6日）及び法人雇用契約による食事サービス（週1回）・清掃（週2回）
4 生活者間の交流	随時			
1) 各GLでのミーティング	毎月1回	毎月	各グループリビング	生活者による主体的なミーティング開催
2) GL生活者同士の交流				各GL生活者間の交流を深める。
5 各グループリビング主催の地域交流	各1回		各グループリビング	湘南台：サロンコンサート 12月 たかくら：多世代交流の会「おもちゃで遊ぼう」7月
6 安心、安全な住まいの提供と防災対策				生活の安心安全のため施設設備の修理、更新等
1) 定期的な保守点検			各グループリビング	
（ア）建物	随時	毎月		ライフサポーターによる定期点検および報告
（イ）エレベーター	年2回			業者による定期点検と報告
（ウ）住宅設備	2回	6月・12月		給湯、ガス、上下水道、電気設備等管理業者による定期点検と報告
（エ）消防用設備	2回	10・4月又は7・1月		消防設備等管理業者による定期点検の実施と藤沢北消防署への点検結果報告
2) 消防署による立入検査	各1回	10月	各グループリビング	
3) 自主避難訓練の実施	各1回	10月	各グループリビング	

グループリビングの研究及び啓発普及事業

	回数	日時	場所	備考
1 グループリビングの紹介				
1) 定例見学会	全6回	第1土曜日		予約制 GLに興味がある方 1回15名程度
	3回	8月・10月・2月	COCO湘南台	
	1回	12月	COCOたかくら	
2) 臨時見学会	随時		COCO湘南台	予約制 GL設立を目的とした団体、個人
3) 看護学生実習受け入れ	2回	4月・9月	COCO湘南台	藤沢市立看護専門学校生の授業実施
4) 大学、大学院生の受け入れ	随時		COCO湘南台	研究等を目的とした学生の研修等
5) 各種メディアの取材協力	随時		COCO湘南台	出版社、新聞社、テレビ局等の取材受け入れ
2 講師及びシンポジストの派遣	随時		全国各地	
3 ネットワークの構築	随時			グループリビング運営協議会への参加

地域交流活性化事業（「COCOみちしるべ」を拠点とした活動）

事業実施主体：ワーカーズコープ・ホームヘルプおり〜ぶ

実施事業内容：藤沢市委託事業 生きがい対応型デイサービス（10月以降は介護予防・日常生活総合支援事業）

News

糸野 埤至子さんが婦人公論で紹介されました！

COCOたかくらの居住者 糸野 埤至子さんが、婦人公論6月号（p. 26-27）「超ハツラツな“アラ80” 退屈知らずの時間割」の特集で、紹介されました。「世界のおもちゃで子どもたちと地域とつながって」をテーマに、糸野さんがおもちゃコンサルタントになるまでの経緯と現在のご活躍の様子とともにCOCOたかくらの食堂で撮影された糸野さんの写真や入居された経緯や生活の様子が書かれています。糸野さんが地域とつながりながら、グループリビングの暮らしを楽しまれている様子がわかります。この記事にご興味のある方は、COCO湘南の事務局にあります。



高 齢 者 グ ル ー プ リ ビ ン グ 普 及 活 動 2016年4月～11月

4月12日 藤沢市立看護専門学校3年生22名の授業をCOCO湘南台で行いました。
5月11日 兵庫県健康福祉部高齢社会局介護保険課高年施設担当主幹が見学に来られました。
7月14日 編集工房 不動産・住生活ライター 高田七穂氏が「タ刊フジ」“住まいの処方箋”のコラムの取材でCOCO

湘南台を来訪されました。
9月1日 高齢者住宅新聞企画開発部担当者1名がCOCO湘南台に来訪されました。
9月20日 藤沢市立看護専門学校3年生31名の授業をCOCO湘南台で行いました。
10月7日 韓国釜山大学大学院建築学科院生ほか通訳者2名が来訪さ

れました。
11月9日 韓国KBSテレビ3名がドキュメンタリー番組「誰と何処で生きるべきか？」制作のためCOCO湘南台に来訪されました。
11月24日 NPO法人高齢期の住まい&暮らしをつなぐ会10名がCOCO湘南台に来訪されました。

編集後記

NPO法人COCO湘南は、今年で18年目を迎えます。開設時70歳で入居された西條節子氏は今年88歳の米寿を迎えられます。今回の総会は西條氏が退任され、大江守之氏が理事長で新体制となり、将来に向けて持続的運営が可能な経営、運営のための見直しが行われます。新体制に期待したいと思います。（な）

編集者＊西條節子
大江守之
熊澤淑子
竹内碩子
青木静恵
土井原奈津江